



報道関係者 各位

平成21年9月11日
厚生労働省健康局結核感染症課
照会先: 中嶋、江浪
(電 話) 03(5253)1111
内線 (2373)
直通 03(3595)2257

埼玉県さいたま市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

埼玉県さいたま市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ
新型インフルエンザウイルスが検出されたとの報告がありましたので、その
概要について、別紙のとおり、情報提供します。

報道機関 各位

記者発表資料

平成21年9月11日(金)

問い合わせ先

保健福祉局 健康増進課

担当：篠森、嘉悦

電話：829-1287 (内)2921

新型インフルエンザウイルスのタミフル耐性株の検出について (第1報)

さいたま市内において、抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す遺伝子マーカーH275Yをもつ新型インフルエンザのウイルス株が確認されましたので、次のとおりお知らせします。

I. ウイルス検出の概要

9月8日(火)に、さいたま市健康科学研究センターにおいて、既に確保されていた新型インフルエンザのウイルス株を用いて、抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す遺伝子マーカーH275Yを検出する検査を実施したところ、当該遺伝子マーカーを持つことが判明した。

なお、当該ウイルス株は、市内在住の5歳未満の男児から採取されていたものです。

II. 患児の経過

8月21日(金)の午後に発熱し、近医(診療所)を受診したところ、インフルエンザと診断され、タミフルによる治療が開始された(服用期間は25日まで)。その後、自宅療養を続けた。

24日(月)に、咳は持続していたが解熱した。

26日(水)に、微熱が出現した。

27日(木)に、38℃台の発熱と呼吸苦を訴えたため、近医を再受診したところ、別の医療機関(病院A)を紹介された。そこで、肺炎が認められたことから、別の医療機関(病院B)を紹介され入院となった。病院Bで、A型インフルエンザウイルスへの感染が確認されたため、タミフルによる治療を行った。

28日(金)には解熱し、9月1日(火)に退院となった。今回検査を行ったウイルス株は、病院B入院中に採取された。

9月10日(木)現在、患者の家族や周囲の者を含め健康上の問題は認められていない。

補足：抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す遺伝子マーカーH275Yを持つインフルエンザウイルスは、ウイルスが作るノイラミニダーゼという蛋白を誘導する遺伝子の一箇所が変異している。2008-9インフルエンザシーズンには、国内で確認されたAソ連型のほとんどが、同じ遺伝子マーカーを持っていたが、臨床的に、タミフルの効果が極端に下がったとの報告はなされていない。